

科名 血液内科  
 対象疾患名 急性リンパ性白血病  
 プロトコール名 ALL202-Induction(60歳以上)

Rp 形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1	CV 側管	グラニセトロンバッグ アロカリス	1mg 235mg	30分かけて	↓																					
1	CV 側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて		↓	↓					↓	↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓	
2	CV 側管	エンドキサン 生理食塩液	800mg/m <sup>2</sup> 250mL	3時間かけて	↓																					
3	CV 側管	ダウノマイシン 生理食塩液	30mg/m <sup>2</sup> 100mL	1時間かけて 壊死性抗がん剤	↓	↓	↓																			
4	CV 側管	オンコピン 生理食塩液	1.3mg/m <sup>2</sup> 50mL	30分かけて 壊死性抗がん剤 フィルター使用不可	↓							↓							↓							↓
5	CV 側管	ロイナーゼ 5%ブドウ糖液	3000U/m <sup>2</sup> 250mL	3時間かけて 1回ブリックテストを行う。									↓		↓		↓		↓		↓		↓		↓	
6	CV 側管	プレドニゾン 5%ブドウ糖液	60mg/m <sup>2</sup> 50mL	30分かけて 内服でも可	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓													
7	CV 側管	プレドニゾン 5%ブドウ糖液	30mg/body 50mL	30分かけて 内服でも可									↓													
8	CV 側管	プレドニゾン 5%ブドウ糖液	20mg/body 50mL	30分かけて 内服でも可										↓												
9	CV 側管	プレドニゾン 5%ブドウ糖液	10mg/body 50mL	30分かけて 内服でも可											↓											
10	CV 側管	プレドニゾン 5%ブドウ糖液	5mg/body 50mL	30分かけて 内服でも可												↓										

～MEMO～

催吐リスク3(30%以上90%未満)

<オンコピン>

最大投与量2mg

フィルター使用不可

<ロイナーゼ>

ロイナーゼ初回投与時はアレルギーチェックをすること

調製方法

溶解には注射用水、または5%ブドウ糖液を使用し、1Vあたり2～5mLで溶解する

生理食塩液で直接溶解すると、白濁することがあるため、溶解には使用しない

溶解後3時間以上経過時に浮遊物を認めるため、溶解後は速やかに使用すること

プレドニゾン注は内服でも可。終了時は、4日程度かけて漸減し終了すること。